



常呂川森林ふれあい推進センターでは、森林環境教育や森林ボランティア育成などに取り組んでいます。今回は、令和6年度に当センターが実施したイベントの中から3つの取組をご紹介します。

【オホーツクの森林づくり】

6月16日、「オホーツクの森（自然再生モデル林）」において、針葉樹人工林を針広混交林へ誘導・再生するための補植（植樹した木が欠損した箇所を植え直す）などを実施しました。

当日は、森林ボランティア「オホーツクの会」から10名と北見林業土木協会から8名の皆様に参加していただきました。



◆補植～立派に育って

【ワッカネイチャースクール】

7月2日、ワッカ原生花園において、原生花園の素晴らしさなどを感じてもらうため、ワッカネイチャースクールを開催しました。

当日は、北見市立常呂小学校3年生の児童20名ほか、教員、網走南部森林管理署・当センターの職員らが参加しました。

アイスブレイクの「じゃんけんゲーム」を行った後、原生花園の散策をスタート、それぞれのマスのヒントをもとに答えを埋めてビンゴを目指す「フィールドビンゴ」と、聞こえる音のすべてを文字ではなく自分の感じた形や線で用紙に表現する「サウンドマップ」を行いました。



◆サウンドマップ～お静かに！

【山の日制定記念藻琴山森林散策】

8月24日、藻琴山において、「山の日」制定を記念とした森林散策を開催しました。このイベントは、平成28年からオホーツク総合振興局、網走南部森林管理署、当センターの3者で行っていましたが、新型コロナウイルスの影響や悪天候のため、今回は7年ぶりに開催となりました。

一般参加者、スタッフ含め総勢35名による登山散策でしたが、まもなく9合目というところで急に雨が降り出し、見通しも悪く足元も滑りやすくなったので、残念ながら途中で中断となりました。



◆記念写真～来年こそは登頂

【おわりに】

当センターでは、この他にも様々な業務に取り組んでいます。活動状況は、随時Webサイトに掲載していますので、ぜひご覧ください。

https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa_fc/index.html